

日本母性衛生学会と千葉県

千葉県母性衛生学会30周年を祝して

京都橘大学
前原澄子

歴代理事長



妊産婦死亡

表9 妊産婦死亡率の国際比較 (出生10万人)

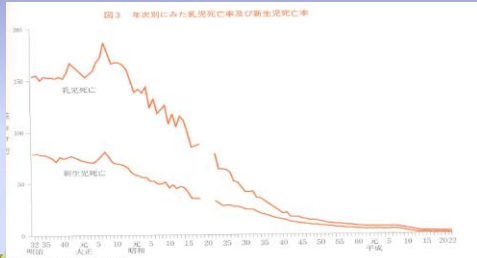
国名	年次	昭和40年 (1965)	昭和50年 (1975)	昭和60年 (1985)	平成7年 (1995)	平成21年 (2009)
日本	本データ	87.6	28.7	15.8	7.2	4.2 ⁽¹⁾⁽²⁾
カナダ	...	32.3	7.5	4.0	4.5	5.9 ⁽³⁾
アメリカ合衆国	...	31.6	12.8	7.8	7.1	18.4 ⁽³⁾
オーストラリア	...	32.2	19.9	12.0	9.6	7.6 ⁽³⁾
ドイツ	39.6	10.7	5.4	6.1 ⁽³⁾
イタリア	...	77.0	25.9	8.2	3.2	2.3 ⁽³⁾
オランダ	...	26.9	10.7	4.5	7.3	4.2 ⁽³⁾
スウェーデン	...	13.8	1.9	5.1	3.9	1.9 ⁽³⁾
スイス	...	37.6	12.7	5.4	8.5	1.3 ⁽³⁾
イギリス	...	18.0	12.8	7.0	7.0	7.3 ⁽³⁾
オーストラリア	...	37.0	5.6	3.2	8.2	3.4 ⁽³⁾
ニュージーランド	...	21.6	23.0	13.5	3.5	15.2 ⁽³⁾

(注) ①*1985年までは旧西ドイツの数値である。
 ②*1985年までは、イングランド・ウェールズの数値である。
 ③2003-2005 001-2004 001-2005 001-2006 001-2009
 (資料) 厚生統計協会「国民衛生の動向」
 **厚生労働省「人口動態統計」
 UN「Demographic Yearbook」

千葉県妊産婦死亡数

	昭和25	昭和35	平成22
全国	4117	2097	45
千葉県	89	60	3

乳児死亡



(注) 厚生労働省「人口動態統計」

乳児死亡

表9 乳児死亡率の国際比較 (出生10万人)

国名	年次	昭和40年 (1965)	昭和50年 (1975)	昭和60年 (1985)	平成2年 (1990)	平成21年 (2009)
日本	本データ	30.7	13.1	7.5	4.6	2.3 ⁽¹⁾⁽²⁾
カナダ	...	27.3	18.8	10.4	6.8	5.0 ⁽³⁾
アメリカ合衆国	...	26.0	20.1	12.6	9.2	6.8 ⁽³⁾
オーストラリア	...	37.5	25.8	13.3	7.5 ⁽³⁾	3.7 ⁽³⁾
フランス	...	21.5	14.2	8.4	7.2 ⁽³⁾	4.0 ⁽³⁾
ドイツ	...	27.4	15.1	10.0	7.3	3.4 ⁽³⁾
イタリア	...	33.8	23.6	12.6	7.0	3.9 ⁽³⁾
ハンガリー	...	47.6	35.9	23.2	15.6 ⁽³⁾	5.6 ⁽³⁾
インドネシア	...	43.9	29.6	24.5	8.6	22.4 ⁽³⁾
オランダ	...	16.5	12.7	8.6	7.1	3.8 ⁽³⁾
ポーランド	...	36.8	23.2	21.3	15.0 ⁽³⁾	6.0 ⁽³⁾
スウェーデン	...	16.6	11.0	6.9	6.0	2.3 ⁽³⁾
スイス	...	21.1	15.1	9.3	6.2 ⁽³⁾	4.0 ⁽³⁾
イギリス	...	22.5	18.5	12.1	6.6 ⁽³⁾	4.8 ⁽³⁾
オーストラリア	...	29.2	17.9	10.7	6.7 ⁽³⁾	4.1 ⁽³⁾
ニュージーランド	...	25.6	16.7	13.0	8.4 ⁽³⁾	25.4 ⁽³⁾

(注) ①*1985年までは旧西ドイツの数値である。
 ②*1985年までは、イングランド・ウェールズの数値である。
 ③2003-2005 001-2004 001-2005 001-2006 001-2009
 (資料) 厚生統計協会「国民衛生の動向」
 **厚生労働省「人口動態統計」
 WHO「World Health Statistics Annual」
 UN「Demographic Yearbook」

乳児死亡

表5 重要死因別、乳児死亡数 昭和25年～平成22年

死因	昭和25年		昭和30年		昭和35年		昭和40年		昭和45年		平成2年		平成7年	
	年次	死因	年次	死因	年次	死因	年次	死因	年次	死因	年次	死因	年次	死因
全死因	149,815	44,283	119,160	37,645	90,909	11,844	7,888	5,418	9,261	15,166	2,745	18,888	1,188	15,116
肺炎及びその他、下呼吸器疾患	23,090	12,877	3,102	1,588	2,008	148	119	1,159	884	593	3,056	3,914	3,131	2,414
気管支炎	7,159	3,056	3,914	3,131	2,414	2,028	1,825	2,462	2,494	3,757	3,297	2,035	987	950
先天性心臓病	2,462	2,494	3,757	3,297	2,035	987	950	2,189	1,315	1,142	609	403	348	328
脳出血、分娩死及びその他の呼吸器病態	2,189	1,315	1,142	609	403	348	328	5,854	3,930	2,558	2,428	2,798	2,558	2,458
不明	1,786	1,285	1,025	909	897	936	764	603	414	376	379	361	341	326
乳癌	326	317	174	147	103	145	140	241	207	159	121	128	99	85
胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	329	247	174	127	144	124	113	329	247	174	127	144	124	113
全死因	5,854	3,930	2,558	2,428	2,798	2,558	2,458	1,786	1,285	1,025	909	897	936	764
乳癌	326	317	174	147	103	145	140	241	207	159	121	128	99	85
胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	329	247	174	127	144	124	113	329	247	174	127	144	124	113

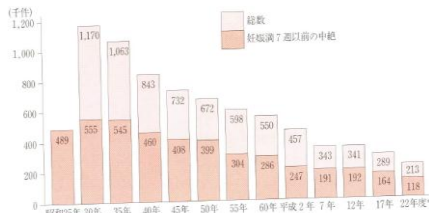
(資料) 厚生労働省「人口動態統計」

妊産婦死亡原因

- 妊娠中毒症
- 出血
- 子宮外妊娠
- 産褥熱



図7 人工妊娠中絶件数 昭和25年～平成22年度



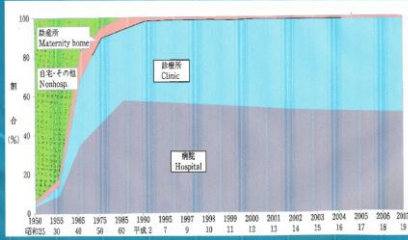
出生の場所

表7 出生の場所別、出生割合 昭和25～平成22年 (%)

年次	昭和25年	昭和30年	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成2年	平成12年	平成17年	平成21年	平成22年
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
施設内計	4.6	17.6	84.0	98.8	99.8	99.8	99.8	99.8	99.8	99.8
病院	2.9	10.8	36.8	47.4	55.5	55.8	53.7	51.4	51.6	51.8
診療所	1.1	4.5	34.3	44.2	42.4	43.0	45.2	47.4	47.2	47.1
助産所	0.5	2.4	12.9	7.2	2.0	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9
自宅・その他	95.4	82.4	16.0	1.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2

(資料) 厚生労働省「人口動態統計」

分娩場所年次推移



日本母性衛生学会設立総会

昭和34年10月28日
 東京・中野公会堂
 会長・久慈直太郎(日赤病院長)
 発起人・厚生省 都道府県関係部課
 保健所長会 日本公衆衛生学会
 日本産婦人科学会
 日本母性保護医会
 家族計画関係団体

「母性衛生」巻頭言 森山豊

妊産婦は、病院、診療所、助産所、自宅などで医師、助産婦、保健婦らによって指導を受けているのに、これの間にはなんら有機的なつながりはない。また、妊産婦に対する国全体としての妊産婦保健指導あるいは保護の体系が樹立されていない。



母性衛生学会の役割

- 母性衛生学会は、行政担当者、医師、助産婦、保健婦、その他妊産婦に関与する全ての人々によって構成されている。従って妊産婦指導はいかにあるべきか、また妊産婦死亡を低下させるにはいかなる対策を必要とするか、等の重要問題について研究していくには、本学会はもっとも適当であり、また本学会設立の目的といえる。

学術集会

第1回

会長：久慈直太郎
会期：昭和35年11月18日
会場：東京 九段会館



パネルディスカッション：「妊産婦保健指導の問題点と打開策」（座長 森山 豊）
講師、木下正一、杉原正造、横山康史、笠原トキ子、岡宮うら

一般演題数：22題

シンポジウム題目

- 第2回 妊産婦死亡の原因と対策
- 第3回 周産期死亡について
- 第4回 妊娠中毒症の対策
- 第5回 産褥をめぐる母子の管理

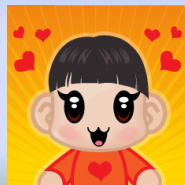


児童福祉法

児童福祉の理念

児童育成の責任

原理の尊重



福祉事務所

業務

- 1 児童及び妊産婦の福祉に関し、必要な実情の把握に努めること。
- 2 児童及び妊産婦の福祉に関する事項について、相談に応じ、必要な調査を行い、及び個別的にまたは集団的に、必要な指導を行うこと並びにこれらに付随する業務を行うこと。

第2章 福祉の保障

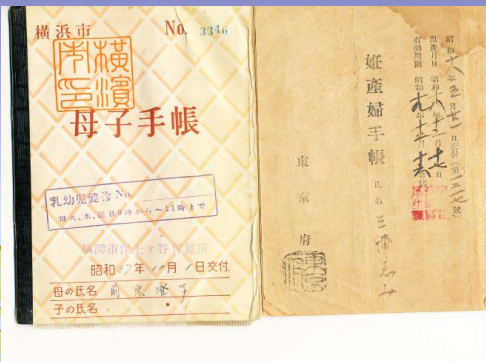
第22条 助産施設への入所

- 1 妊産婦の申し込みによる助産施設での助産
- 2 助産の実施の申し込み
- 3 助産の実施の申し込みの勧奨
- 4 助産施設情報の提供

第3章 事業及び施設

助産施設

第36条 助産施設は、保健上必要があるにもかかわらず、経済的事由により、入院助産を受けることができない妊産婦を入所させて、助産を受けさせることを目的とする施設とする。



母子保健行政

昭和22年 厚生省児童局母子衛生課
児童福祉法

昭和23年 母子衛生対策要綱
妊産婦・乳幼児の保健指導(昭23)
育成医療(昭29)
未熟児対策(昭33)
新生児訪問指導(昭36)

昭和34年

WHO西太平洋地域第1回母性保護会議
新国民健康保険法施行国民年金法公布
小児マヒ指定伝染病に指定
日本老年医学会設立
メートル法実施
皇太子(現天皇陛下)ご成婚



看護婦学校養成所指定規則

医学概論
解剖生理細菌学
精神衛生
社会福祉
衛生
栄養
薬理

看護学



看護学内訳

看護史 看護倫理 看護原理及び実際
 公衆衛生看護概論 内科学及び看護法
 外科学及び看護法 伝染病学及び看護法
 小児科学及び看護法
 産婦人科学及び看護法
 精神病学及び看護法
 眼科学、歯科学及び耳鼻咽喉科学
 皮膚泌尿器科学 理学療法

助産婦養成所学科課程

解剖生理学 婦人科学 産科学及び助産法
 新生児学 栄養学 優生学 衛生統計
 衛生法規
 妊婦及び褥婦保健指導
 新生児及び乳児の保健指導
 社会学大意及び社会事業
 助産婦倫理及び助産史



母子保健法(昭和40年)

目的

この法律は、母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図るため、母子保健に関する原理を明らかにするとともに、母性並びに乳児及び幼児に対する保健指導、健康診査、医療その他の措置を講じ、もって国民保健の向上に寄与することを目的とする

母子保健法

母性の尊重

第2条 母性は、全ての児童がすこやかに生まれ、かつ、基盤であることにかんがみ、尊重され、かつ、保護されなければならない。



母子保健法

母性及び保護者の努力

第4条 母性は、みずからすすんで、妊娠、出産または育児についての正しい理解を深め、その健康の保持増進に努めなければならない。



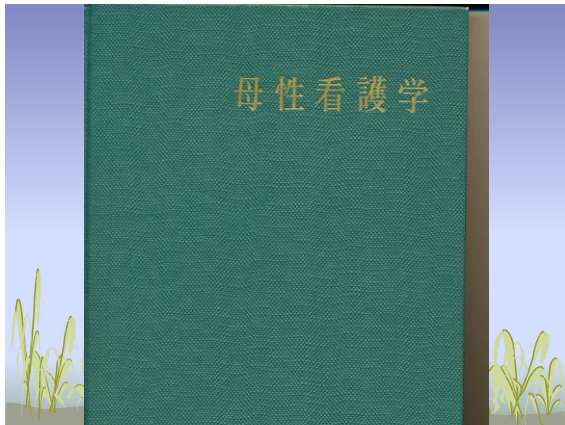
母子保健の向上に関する措置

知識の普及 保健指導 新生児訪問指導
 健康診査 妊産婦・乳幼児健康診査
 栄養の摂取に関する援助
 妊娠の届出及び母子健康手帳の交付
 妊産婦の訪問指導及び医療の援護
 低体重児の届出、未熟児の訪問指導及び養育医療の給付 医療施設の整備 母子保健施設



看護学校養成所指定規則 (昭42)

看護学
 看護学総論
 成人看護学
 小児看護学
 母性看護学
 母性看護概論
母性保健
 母性疾患と看護



系統看護学講座
18

母性看護学

編集／松本 浩一
(自由医科大学教授)
 伊藤 曉子
(群馬大学助産師)
 笠原トキ子
(国家産科助産師)
 玉田 太郎
(自由医科大学教授)
 前原 澄子
(千葉大学助産師)
(監修)

1. 母性看護学概論	28	11. 人工授精と体外受精	313
2. 母性看護学概論	30	12. 子宮頸がん	313
3. 産前産後合併症	30	13. 胎盤異常	313
4. 産前産後合併症	30	14. 胎動異常	313
5. 産前産後合併症	30	15. 胎位異常	313
6. 産前産後合併症	30	16. 胎膜早剥	313
7. 産前産後合併症	30	17. 胎盤早期剥離	313
8. 産前産後合併症	30	18. 胎盤滞留	313
9. 産前産後合併症	30	19. 胎盤不全剥離	313
10. 産前産後合併症	30	20. 胎盤血腫	313
21. 胎盤血腫	313	21. 胎盤血腫	313
22. 胎盤血腫	313	22. 胎盤血腫	313
23. 胎盤血腫	313	23. 胎盤血腫	313
24. 胎盤血腫	313	24. 胎盤血腫	313
25. 胎盤血腫	313	25. 胎盤血腫	313
26. 胎盤血腫	313	26. 胎盤血腫	313
27. 胎盤血腫	313	27. 胎盤血腫	313
28. 胎盤血腫	313	28. 胎盤血腫	313
29. 胎盤血腫	313	29. 胎盤血腫	313
30. 胎盤血腫	313	30. 胎盤血腫	313

助産婦学校養成所指定規則

母子保健概論
 母子保健医学
 助産論
 助産業務管理
 母子保健管理
 地域母子保健
 家族社会学

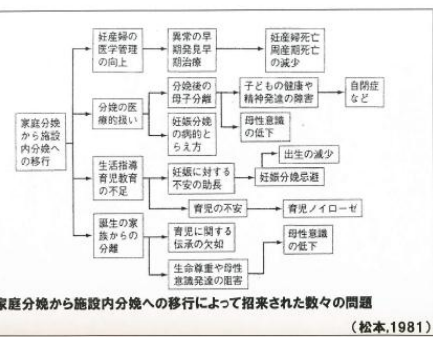
母子保健状況比較

	昭和35年	平成21年
妊産婦死亡数	2097名	53名
死産率	100.4	24.6
新生児死亡率	17.0	1.2
早期新生児死亡率	10.6	0.8
合計特殊出生率	2.00	1.37

医療介入分娩

ME機器導入
複数人員の介入

↓
安全な分娩の保障 安楽への不満



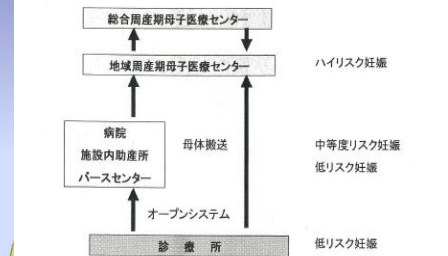
健やか親子21

1. 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進
2. 妊娠出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援
3. 小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備
4. 子どもの心の安らかな発達と育児不安の軽減

妊娠出産に関する安全性と快適さの確保

妊娠出産に関する安全性を確保しつつ快適さを追求するために、専門職の意識の改革、医療機関間の連携、分娩・入院環境の改善、地域保健サービスの内容の転換、職場の母性健康管理体制との連携の一層の推進等が必要

将来の本邦の周産期医療システム



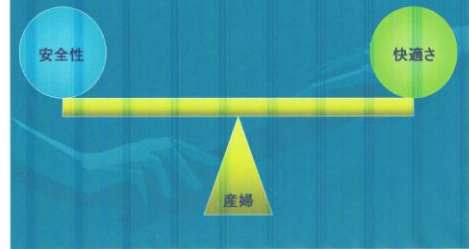
保健水準の推移

妊娠・出産について満足しているものの割合

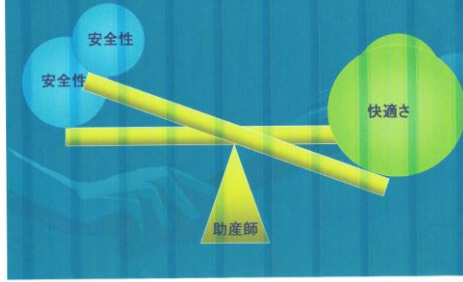
目標	100%
策定時	84.4%
中間値	91.4%
直近値	92.6%



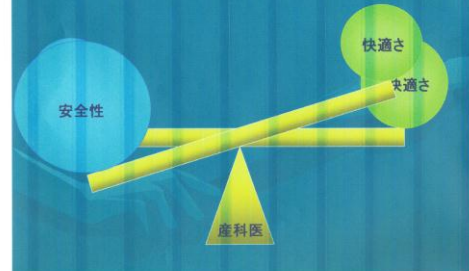
取り組みの方向性



助産師の役割



産科医の役割



実践を支える学問



連携

グループの目的: グループの目的が明確で
メンバーが賛同し共有して
いる

結合力: メンバーそれぞれが持つ特色を認
め合い、共通の目的に向かって、そ
の技で補い合う

プロジェクト

1. 時代の要請が強いこと
2. リーダーに強い志と気概があること
3. 技術陣のレベルが高いこと



リーダーシップ

1. その場にふさわしいリーダーを持つ
2. グループの方向付けをする
3. 勇気をつける



学会の役割

方法の開発
方法の適用
方法の教育



20世紀の軌跡から未来を拓く



温故
知新

20世紀の軌跡から
未来を拓く

第50回
日本母性衛生学会
学術集会

2009年9月27日～29日
横浜パシフィコ横浜

会長講演
特別講演
総論講演
シンポジウム
市民公開講座

2009年9月27日 学術集会事務局
千葉県立中央医療センター
〒270-8501 千葉県千葉市中央区中央1-1-1
TEL: 043-222-1111 FAX: 043-222-1112



ご静聴ありがとうございました

千葉県母性衛生学会の
ご発展を祈ります

